

わーど

第28号
2010.10.1

“稲美町は第2のふるさと”

今年も酷暑の中9ヶ国9名の留学生がやって来ました。
8月7日～14日までホストファミリーと充実した日々を過ごしました。

※ロシアのスヴェータさんは3日間滞在しました

異文化理解講座のご案内

「ホアマイの花との出会い」

※ホアマイとはベトナムの旧正月をお祝いする黄色の花木です。

吾玉・寄せ植え教室講師：井上浩恵さん
日時：12月4日（土）13：00～15：00

場所：稲美町立コミュニティセンターホール
（稲美町役場 新館4階）

当日は吾玉作り体験も予定しています。
詳細は広報いなみ11月号でお知らせします。

トルコ料理案内

日時：11月6日（土）10時30分～13時30分

場所：いきがい創造センター調理室

会費：会員 1,200円 非会員 1,500円

定員：先着20名

持ち物：エプロン

申込み切：10月22日（金）

申込先：国際交流協会事務局 ☎079-492-9130

世界三大料理の一つ、トルコ料理に挑戦してみませんか？

ペルシャ・トルコ料理専門店「CASPIAN KEBAB」（姫路市）のムサビさんを講師にお迎えし、アダナボロなどの代表的な料理を教えます。

お気軽にご参加ください！



▲お店のおすすめアダナボロです

編集後記

113年間で最高気温を記録した型破りの今年の夏。留学生やホストファミリーの感想を前に、今思い出にひたっている。苦勞しながらも見事に出来上がった草履作り。一喜一憂した交流会のクイズ。お別れ会での涙ながらの挨拶。常に前向きで好奇心旺盛な彼らを見ていたら、相田みつをさんの“一生勉強 一生青春”と言うことばを思い出した。そして、後半の事業に向けて頑張ろうと気分を新たにしたい。

このわーど28号発刊の頃には、留学生の憧れでもある、文字通り「風光明媚な日本の秋」を迎えていることを祈りながら…

最後にホームステイ事業に御協力いただいた全ての方々にお礼を述べさせていただいてペンをおきたい。(H)

後半の事業予定

- 外国料理教室 第1回(トルコ) 11月6日(土)
- 異文化理解講座 12月4日(土)
- ティー(X'mas)パーティー 12月予定
- ニューイヤーパーティー 平成23年1月23日(日)
- 外国料理教室 第2回 2月予定

会員募集

21世紀にふさわしい稲美町の国際交流を進めるため、稲美町国際交流協会の会員を募集します。多くの方のご加入により、活気があふれ、心とこころがふれあう協会にしたいと思っております。ご賛同をお願いします。

なお、会員の皆様には、各種イベントのご案内、イベント参加費の割引などの特典を予定しております。

【年会費】	個人	1口	1,000円 (中高生は500円)
	家族	1口	2,000円 (同居)
	団体、法人	1口	5,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

ホームページが新しくなりました。
<http://www.inami-international-a.com/>
イベント情報を随時更新しています。ぜひご覧ください。



平成22年度 稲美町国際交流協会 団体・法人会員

- | | |
|------------------|--------------|
| 医療法人社団奉志会 大西整形外科 | 喫茶クレヨン |
| 医療法人社団奉志会 本部 | バンド・ミー |
| キング醸造(株) | 稲美乳販(株) |
| 社会福祉法人 日の出福祉会 | 株式会社コカジ技研 |
| Big mama 大村農園 | 稲美町老人クラブ連合会 |
| 六甲バター(株) 稲美工場 | 兵庫県信用組合 稲美支店 |
| 山口青果(株) | カフェテラス花の樹 |
| 有限会社 聖 | |

会費をご高納いただき誠にありがとうございます。今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

【クイズの答え】

- ①
 - ③
- わーどクイズ. 沖の鳥島 ※諸説あり

8/11(水)ふれあい交流会



▲どんな話題？楽しそうだね



交流会で多くの日本人と色々話しました。その上に、質問ゲームがありました。それはとても楽しくて、面白かったです。本当にいい体験ができました。(ペン)



▲みんな充実した笑顔

たくさん人とあいました。とてもたのしかったです。みんな私のふくはいいと言った。食べものはとてもおいしかった。クイズもたのしかった。あと日本人の色々な国のイメージはきいてびっくりした。(カウラブ)

初めてなので少しはずかしくとまどったが、将来東南アジアを一人旅したいので、海外の人とお話するのは良い勉強だった。(永井勝志)

クイズ形式で、お客さんとたくさんコミュニケーションがとれるのが良かったと思います。(橋本純子)

色々な国の人と直接話をしたり、聞いたりすることで、新しいことをたくさん知ることができました。様々な企画をしていただき、有意義な時間を過ごすことができました。とても楽しかったです。(藤田明日菜)

8/10(火)万葉茶会



◀万葉の庭園の前で

◀真剣だね

初めて茶会を見ましたが面白かった。学生達はとても上手だった。儀式は複雑でむずかしかったけど楽しかった。生け花も私は美術の天性がないのでうまくできなかったけど、学生が絵をかいてくれてうれしかったです。(ジェズミン)

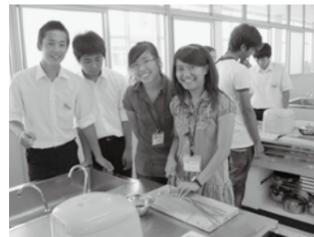
ふだん、おけいこをしていてもなかなか本番で100%出きるのは難しいと感じました。でも、「茶道」という癒しの空間を外国の方と共に行うことができ、とても良い勉強になりました。来年もたのしみにしています。おけいこがんばります。(浦本千秋)

前回よりもみなさんと仲良くなれた気がする。中国の話もたくさん聞けたし、日本の話もたくさんできた。説明はむずかしかったけど、みなさん個性的な生け花やフラワーアレンジメントを作っていてかわいかった。写真もとれたし、楽しかったです。(西垣未来)

とても緊張したけど、最後まで英語で説明できて良かったです。来年も来たいです。(高橋郁子)

楽しかった交流 あっという間の 8日間でした

8/9(月)中学生交流



◀「アッパアアッパア」



中学生と交流して楽しかった。漢字毛筆は初めてだったけど井上先生から教えてもらって大丈夫だった。おにぎりは前よく食べたのに、今度自分で作ったのはきれいではなかった。(秋)

違う国の人と交流するというのが初めてで、とてもきんちょうしたけど、フレンドリーな方ばかりで、とても楽しむことができました。私たちからしたら、習字など普通のことなのに、外国の人にしたらとてもめずらしく、難しいことなんだなと思いました。今回、このような経験ができて良かったし、とても楽しく学ぶことができました。(3年3組 山口莉奈)

今日の中学生交流は、ぼくが思っていたものと全然違っていました。もっと言葉の壁が厚いと思っていたけど、思ったより気持ちよく会話することができました。とても貴重な経験になったので、今後役立たせることができたいなあと思いました。(3年3組 島村和治)

8/7(土)対面式

加古クツクの演奏でスタート!!



▲ポーズきまってるね

交流スタート



8/7(土)歓迎会



▲もうすっかりうちとけてるね

いなみ町の皆さんがこんなに盛大な歓迎会を準備してくれて、本当にびっくりした。そして、感動した。こんなに暑い日に皆さんに苦勞をかけてしまった。皆さんの熱心な顔を見て、私も一層home stayの生活に期待するようになった。(オウ)

8/14(土)お別れ会



▲いいお土産ができたね



お手伝いいただいた ボランティアの方々

(敬称略)

古閑 圭一
島 由美子
大友 園子
岡山 伸子

ありがとうございました

おしまい



8/11(水) ふれあい料理教室



▲なかなかうまいね

日本の有名な料理の作り方を教えてもらった。レストランのような味が出なかったけど、食べられた。大学のりょうで自分で料理を作っているから、たぶんいつかまた私はおすしか、みそしるを作れるだろう……ないかもねハハ。(フェリペ)

今年は巻ずしに挑戦しましたが、皆さんとても上手にできました。料理の手順も手際よく感じさせられました。日本料理のほんの一端でしたが喜んでいただけて嬉しく思います。(澤 和江)

巻寿司と稲荷寿司を作りましたが、皆さん上手に作る事が出来ました。味もおいしいと言って下さいました。ベトナムとマカオの食文化も少し聞く事が出来て楽しい一日でした。(原田和子)

8/12(木)オプション 姫路城見学



▲マサが世界遺産!!

8/10(火)小学生交流



▲完ペキ！うまく書けたね



今日、小学に行った時、すごくたくさんの小学生がいたのでちょっとびっくりした。大好きなカノンを弾いてくれた。小学生達はかわいくて、元気で、自分の小学の時を思い出させた。初めて剣道をして、面白かった。もっと子供達と遊びたかったけど、時間は短かった。(キョト)

ぼくは英語をほとんど話せないけど日本の文化を通して自分や相手の気持ちがわかり合えたと思います。ありがとうございました。(6年1組 野辺悠太郎)

外国の方々と会うきかいはなかなかないのでいい思い出になりました。日本語もとても上手でしゃべりやすかったです。他国の事がたくさん分かって良かったです。(6年2組 石橋怜奈)

外国人の人たちはまっすぐでキレイな剣道をしていました。人におしえるのはむずかしいけど外国人の人たちは素直にきいてくれました。人におしえるということは自分にもいい経験になったと思います。(6年3組 川口静希)

8/9(月)老人クラブ交流



◀難しいけど頑張ってる



老人クラブとの交流はとても心に残りました。一緒に草履を作りました。しあけはかわいすぎて自分でもびっくりするほどでした。国にもってかえて飾りたいと思います。こまをうまくまわすことができてとてもうれしかったです。老人クラブのみなさんがやさしく教えてくれたおかげです。最後にはすてきなプレゼントまでもらえてとても感動しました。ずっとずっと大切にします。(ナナ)

外は曇空ですが室内は晴天の様にたのしく晴れ晴れと約4時間たのしく童心に戻りました。各国の留学生達は皆ものおしもなく明るく色々とお国の話をした。もう逢う事もないであろうと心をこめて見送りました。貴重な時間でした。(宮本美智子)

短い時間で物足りない気もしたが、老いてから他国の若者と接した事はいい思い出になると思う。自分作った片方のぞうりがマカオの国で…。(田中正光)

大向ファミリー 留学生 オウ (マカオ)

再見、オウさん!!

私たちはマカオからやってきた留学生オウさんを受け入れました。元ポルトガル領だったため異国情緒あふれるマカオの話をいろいろ聞かせてもらいました。ぜひぜひ「香港・マカオの旅」に行ってみてください!!

フリータイムの日は加古川のウェルネスに泳ぎに行ったり、この時期ならではのお盆のお墓参りにも一緒に行ってもらいました。マカオには野球場がないようで、オウさんは、連日テレビで生中継される高校野球を不思議そうなまなざしで見っていました。最後の日、甲子園球場に高校野球を見に行きました。炎天下の甲子園、「暑い」「熱い」高校野球の雰囲気を感じてもらえたと思います。

日本の大学で電子工学を学びたいというオウさん。体に気をつけて勉強がんばって夢をかなえてね。また必ず再会しよう!!

(大向佐都子)



短い一週間だった

初めはこの八日のホームステイは長すぎるかもしれないと思ったが、色々面白くて、意義がある活動と交流だった。それに、ホストファミリーの大向さんも親切してくれた。今、別れなければならない時がついに来た。何か、とても短い一週間だった気がする。

最初ここに来た日は、ちょうどいなみ町の花火大会の日だった。空気もいいし、風も涼しいし、気持ちがよかった。いなみ町の花火は大きくて、きれいで、すごくよかった。ところが、花火より、いなみ町の星空の方が私の目を奪った。こんなに澄んだ星空は全く見た事がなかった。



私はホストファミリーと皆さんから、色々な事を教えてもらった。そういう事は、日本語の授業中絶対に習う事ができないと思う。そして、私も、私の故郷のマカオの事を皆さんにたくさん紹介できた。

おかげで、私の日本語もこの一週間で上達した。

この短い一週間の思い出は、一生忘れないだろう。この一週間、いなみ町が私の家になった。将来、機会があれば、絶対何度も、いなみ町に来たいと思っている。最後に、もう一度、皆さんに「ありがとう!」と言いたい。
(オウ)

橋田ファミリー 留学生 フェリペ (ブラジル)

好馬

今夏、長身で大変物静かなブラジルの一青年との出会いがありました。彼の名はフェリペ。ポルトガル語で「馬の好きな人」と言う名前です。と自己紹介しました。彼は日々協会の企画に積極的に取り組み、日本の文化、習慣、生活様式への想いを肌で感じようとする態度に私はまぶしく考えさせられる事ばかりでした。フリーの日、古典落語鑑賞後、生涯学習教室に案内した際、一受講生がフェリペの日本語の意味は「好馬」だねと提案されると、翌日中学生交流の習字でさっそく「好馬」と書いて喜ぶ様子を見て、僅か4ヶ月間での彼の日本語のリスニング力と漢字習得の努力にびっくりしました。

彼のクールな態度からは移民国家の考えである「人は強くないといきていけない、しかし定着にはやさしさが不可欠」という考えがいたる所に見られ、今年も又世界の異なった場所で生活を営む人との出会い、会話が持た喜びと幸せに感謝せずにはいられませんでした。
(橋田久子)



楽しい一週間

このホームステイの8日間で日本の文化と生活について少し分かりました。たぶんこれは私たちの最後のホームステイです。来年1月に進学する大学が決まるから、時間がないかもしれないからです。

全部良かったけど、一番好きだったのは小学校の行事です。小学生たちがかわいくて、元気でした。「フリートーク」で小学生たちと私の国についてたくさん質問をして、楽しかった。姫路城も行った。私は初めて日本の古い城へ行って、本当に美しく、楽しかった。

私のホームステイの家族は親切だった。久子さんも光夫さんも明日菜さんも優しく、1週間が楽しかった。ありがとうございました。
(フェリペ)



赤松ファミリー 留学生 秋 (ベトナム)

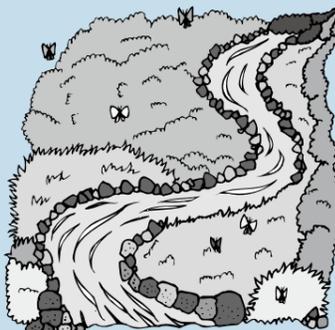
楽しかった1週間

今年もベトナム人のチャントウ・ハさんを迎えました。ニックネームをアキちゃんといい、とても笑顔の可愛い学生さんでした。日本の食物に興味があり、食事を作っているといつも側に来て、興味津々でした。そして何でも「美味しい美味しい」といって食べてくれたのがとても嬉しかったです。家族といろんな事をお喋りし、ベトナムの事や日本の事をお互い理解しあえたと思います。浴衣もとても気に入り、花火も一緒に楽しみました。また一人大切な娘ができました。これからも彼女との交流を大切にいつまでも付き合っていきたいです。
(赤松恭子)



田舎へ行く

ベトナムでは毎年田舎へ帰りますが、今年は日本の田舎へ行き、色んな経験をして夢のようでした。ホストファミリーはとても親切で、お互いによく話して日本の文化が少しわかりました。お風呂の「せん」を抜いてしまったのは笑い話です。皆とても親切ですが、特にお母さんは色んな事を教えてくれて本当に感謝しています。生け花や料理、茶道などに挑戦でき「COOL」な一週間でした。「稲美の田舎」は第2の故郷になりました「ありがとう」
(秋)



ふれあい交流 “いなみ野の里” 留学生・ホストファミリー 8日間の記録 その1

井上ファミリー 留学生 ガウラブ (インド)

インド プリン

今年も1週間があつという間に過ぎていきました。今回、我が家にやってきたのは、インドからの留学生ガウラブです。プロフィールを見た時から「男前やなあ」と思っていたのですが、バスからおりてきた彼は、それ以上にhandsome boyでした。日本語があまりできないと書いていましたが、電子辞書をかたわらに、たくさん話をする事ができました。特に高2の娘とは、兄妹のように仲良く日本語を教えたり、英語を覚えてもらったり、プリクラをとったり...、おにいさんと2人兄弟の彼にとっては妹ができたような感覚だったのでしょうか?ケータイとi-podが必需品で、まさしく今どきの男の子なのに、交流会の時に民族衣装を着たあの姿は、プリンそのものでしたね。ガウラブ、1週間ほんとに楽しい思い出をありがとう。
(井上愛美)



ホームステイ

ホームステイはとても楽しかった。日本の文化や新しいことがたくさんわかりました。一週間日本語を話したので少しじょうずになったと思います。フリーの日は、明石大橋やお父さんの仕事場やへ行きました。「インセプション」という映画も見ました。家族はとてもやさしく、仲がよくてすばらしかった。皆さんありがとうございました。
(ガウラブ)



ひと休み クイズに挑戦

好評だった交流会での留学生出題のクイズです

1. インドの国の動物は?
①とら ②ぞう ③さる
2. 2008年ブラジルの集団移民からついに100年!! 初の移民船笠戸丸はどこの港から出港したでしょうか?
①新潟 ②大阪 ③神戸

わーどクイズ
★日本にある世界一小さいと言われている島は?



答えは最終ページ右下にあります。



水田ファミリー 留学生 キット (香港)

キットとの大事な時間

今回我が家に来てくれたのは、さわやかな笑顔が魅力的な香港の「キット」。4月に日本に来て初めて日本語の勉強をしたとは思えないくらい上手に日本語を話し、敬語もうまく使う、とても聡明な好青年です。彼の使っていた部屋はいつもきちんとして整理されていて、服もきれいにたたんであり、朝もきちんとして起きて、その日の予定を確認する。戻ってきたら、もういつの間にか感想文は書き上げていて、非の打ち所が無い学生です。香港のお土産物の一つに「老婆餅」と言うものがあると聞き、どんなかわしわなお餅かと思いきや、「老婆」とは「奥さん」の意味で、全然かわしわではないとのこと…。意味の違いにびっくりしました。香港の家庭料理



「蕃茄牛肉蛋」を教えてもらい一緒に作りましたが、材料や調味料も日本にあるもので出来、思っていた以上にヘルシーで、とても美味しかったです。彼のいた一週間は楽しく、びっくりすることや感心させられることの連続でした。また彼が遊びに来てくれることを楽しみに待っています。

(水田克美)

忘れられない一週間

稲美町に着く前、ホームステイを楽しみにしていた。初めて日本人の家に泊まるから、たくさん日本の習慣を習えと思った。対面式ではとても盛大な歓迎にびっくりした。そしてホストファミリーを紹介されて、水田さんのお母さんと妹さんと甥の男の子に会った。一週間水田家の料理は美味しかった。この先、寮に帰って自分の下手な料理を思うと少し悲しくなる。また、たくさんの人と交流できていい経験になった。茶会や生け花の機会はたぶんあまりないだろう。私の日本語もだいぶ上達したと思う。すばらしい思い出が出来、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

(キット)

米澤ファミリー 留学生 ジェスミン (シンガポール)

いつの間にか

今年、シンガポールのジェスミンを迎え入れることになりホストファミリー4回目となりました。

印象は気さくでおっとり系、だけどアジア人特有の細かいところまでよく気がまわって、一緒に生活して違和感を感じさせないまったく素晴らしい外国の女性。ホスト慣れしてきたせい、おかげさまで、ご近所に協力頂き、花火大会には浴衣を着せてもらったり、又、バーベキュー等でいろんな出会いがあり喜んでおります。

元々我が家が、ホストファミリーを始めたきっかけは息子のハニカミ改善トレーニングの為でした。このたび感想文を構想するなかで、大きな成果を発見！今年のホストファミリーを提案したのは子供たち。ジェスミンと最初にうちとけたのも子供たち、交流会(パーティー)で物怖じしなかったのも、お別れ会でハグして涙のお別れをしたのも子供たち。トレーニングが必要なのは…お父さん!?

悲願達成!ちょっと悲しくとても嬉しい悲鳴であります。(米澤昌泰)



日本へ来て一番の経験

初めてHost Familyと会った時、私はとても緊張しました。全然知らない人といっしょに住んだことがなかったし、日本語は下手だから、自分の意志が通じるかどうかわかりませんでした。だから、初めの歓迎会では話すことが少なかったです。でも、皆さんはとても親切だったから、家庭的な気持ちになって、リラックスさせてもらいました。

最初、私とHost Familyは花火を見ました。とてもきれいでした。それに、子供達と日本語で話したり、ゆかたを着せてもらったので日本にいる気持ちになりました。2日目のFree timeはHost Familyと交流して親しめるので、良かったと思います。いっしょに考

古博物館へ行って、子供達といっしょにまがたまを作りました。お父さんと子供達は私の日本語の宿題を手伝ってくれました。子供達は小学生だけど、たくさんの漢字を知っていました。そして初めておじいさんの家へ行きました。おじいさんは知識豊富で、おばあさんはよく笑って、おねえさんは料理がめっちゃ上手でした。おねえさんといっしょにクリームパンを作れてうれしかったです。ハートフルな気持ちになったので、帰りたいくなりました。

稲美町へ来てから、日本のことをたくさん知りました。たぶん日本語も上手になりました。それに、野球も全然知らなかったけど、お父さんと子供達は野球が大好きなので、ちょっとわかるようになりました。このプログラムはいい思い出になりました。

また、Host Familyと会いたいです。どうもありがとう。(ジェスミン)



船山ファミリー 留学生 ナナ (インドネシア)

短かった一週間

おばあちゃん、おじいちゃんの家ホームステイの人が来ると聞いたとき、嬉しくて楽しみでした。その予想が的中。すごく楽しかったです。一緒にトランプをしたり、インドネシアの文化について教えてもらったり、ナナにとっても私にとってもすごくいい経験になりました。料理教室の後「今日、お寿司作ったの。食べてみて?」と言われ、食べたらおいしくて「おいしいよ」と言ったら「わーよかった。ありがとう!」とびきりの笑顔を見せてくれました。初めて会った時も初めて会ったの!?って思うくらい親しみやすくてすぐ仲良くなりました。お別れ会の時にナナが言った。「一緒にテーブルを囲んでご飯を食べたことが嬉しかった」って言ってくれ

た時は本当にこちらも嬉しかったです。ふれあい交流「いなみの里」はすごくいい企画だと実感しました。この一週間はすごくいい思い出になりました。(船山志保)

最高のおもいで

私がこのホームステイに参加したかった理由は、8月に帰国する前に日本での最後の思い出を作りたいからでした。なので、このホームステイに参加できるという知らせがきた時はとてもうれしかったです。

いろいろな行事に参加して勉強になることがたくさんありました。私のホストファミリーもとてもあたたかく私を受け入れてくれました。この一週間、ほんとうに自分のお父さん、お母さんみたいにやさしくしてくれました。いろいろな食べものを作ってくれたり、いっしょにあそびにいたり、ほんとうにいい思い出ができました。

一週間は本当にはやいものです。このプログラムがおわっても、私は稲美町をずっとにわすれません。本当に最高のおもいでができました。スタッフのみなさんにもありがとうと感謝の気持ちでいっぱいです。

インドネシアへ帰っても、もういちど稲美町にもどりたいです。(ナナ)



ふれあい交流 “いなみの里” 留学生・ホストファミリー 8日間の記録 その2



松崎ファミリー 留学生 ベン (タイ)

ベンくんとのお思い出

我が家は家族の人数が多く長男夫婦、孫2人、息子の7人家族です。今回の留学生を受け入れるまでは、少し不安だったけれども、ベン君と話してみるとすぐに打ち解けて、家族の一員のように、また、友達のように1週間楽しく過ごすことができました。

夕食はベン君が食べたいと言ったものを作るようにしました。すき焼きや手巻き寿司、そして、たこ焼などを一緒に料理して、毎日賑やかな夕食となりました。

そして、夕食の時にはベン君自身や家族のこと、そして、学校生活などいろいろと聞かせてもらいながら楽しく過ごすことができました。このホームステイ事業で留学生達と触れあい、今まで知らなかった他の国の文化などを知ることができました。今回の受け入れで、国際交流についてますます関心ができました。(松崎雅彦)



初めての体験

私は今大阪大学で勉強していますが、先生以外の日本人と話すことがほとんどないので、日常の日本語の会話をする機会が少ないです。その上、会話には英語を使います。そのため、私は「この状態で、日本語が上手になるのは難しいなあ」と思ってホームステイプログラムに応募しようと決めました。しかし、私がこのホームステイプログラムに参加したかったのはそれだけでなく、日本人と友達になりたいかったのも1つの理由です。

稲美町に着いた時子供達のかわいい演奏をはじめ、多くの人々が歓迎してくれて本当に感動しました。私のホストファミリーの人数は七人ですが、迎えに来てくれた人は、その数より多くて、びっくりしましたが、多くの人に会えたので嬉しかったです。

私の場合は家族が多かったおかげで、三軒の家にも泊まりました。だから、色々な人に会えました。みんな親切で優しい人です。日本の若者の中で人気がある曲とか映画のこととか色々話しました。ホストファミリーの料理は、とてもおいしかった。私は日本料理が大好きだから、嬉しかったです。しかし、納豆はあまり好きではありません。

このホームステイのイベントは面白いものがたくさんありました。例えば、中学生との交流、小学生との交流、料理教室など、全部楽しかったです。交流の中で、巻き寿司を作ることとか、けん玉で遊ぶこととか、草履を作ることとか、色々な事に挑戦できて本当に面白かったです。

ホストファミリーやボランティア、そして稲美町の皆さん本当にありがとうございました。このホームステイプログラムに参加できて幸せでした。(ベン)

